



議員とおしゃべり してみた結果

議会報告会結果概要 2022

Outline of City council's briefing session on citizens' meeting



釧路市議会
— City Council of Kushiro —

目 次

2022 年度(令和 4 年度) 議会報告会の結果の概要	1
会場別の結果の概要	3
鳥取コミュニティセンター (コア鳥取)	5
釧路市役所	7
音別町コミュニティセンター	9
阿寒町公民館	11
中央図書館	13
アンケート集計結果	15
(参考資料) スライド	33

フェイスブックなどで市議会の情報を発信しています！

市議会では、多くの皆さまに議会活動をお伝えするため、議会だよりのほか、フェイスブックやホームページで議会関係情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

 **フェイスブックページ**
<https://www.facebook.com/kushiroshigikai>



 **いいね！してね**



「議会だより」を、電子書籍ポータルサイトやスマートフォンアプリにも掲載しています。パソコンやスマートフォン、タブレットがあれば手軽に読むことができますので、ぜひご活用ください。

 **ホームページ**
<http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html>



本会議のインターネット中継もしています！

ホームページで電子書籍ポータルサイトをご案内しています



2022 年度(令和 4 年度) 議会報告会の結果の概要

釧路市議会は、市民に開かれた議会を目指して、2011 年(平成 23 年)に「釧路市議会基本条例」を制定しました。本条例では、市民に対し議会が持っている情報を積極的に発信して説明責任を十分に果たさなければならないこと、議員と市民が情報や意見を交換する場をより多く設けるよう努めることなどを定めており、その一環として開催するのが「議会報告会」です。今年度で 11 回目の開催となります。

【開催日程】

例年は、阿寒、音別地区についてはいずれか一方での開催としていましたが、今年度は昨年に引き続き両方の地区で開催しました。

開催日	開催時間	会場
10 月 28 日(金)	18:30~20:00	鳥取コミュニティセンター (コア鳥取)
10 月 31 日(月)	19:00~20:30	釧路市役所 (議場)
11 月 1 日(火)	18:30~20:00	音別町コミュニティセンター
11 月 2 日(水)	18:30~20:00	阿寒町公民館
11 月 4 日(金)	10:30~12:00	中央図書館

【プログラム】

議長(副議長)による開会挨拶、議会だよりのリニューアルの報告に引き続き、9 月定例会の概要として、本会議での質疑・一般質問や、各委員会での審査内容を一問一答の形で紹介したほか、津波対策及び市立小中学校のあり方に関する直近約 1 年間の議会議論をまとめて紹介しました。

その後、初めての取組として、参加者と議員がグループに分かれて懇談する形式での質疑応答、意見交換を行いました。各グループでは、参加者に「議員と話したい内容」を付せんを書いて提案してもらい、それを基に議員が懇談を進めました。



- 1 開会挨拶
- 2 議会だよりのリニューアルの報告
- 3 9 月定例会の報告
 - (1) 日程
 - (2) 主な質疑・一般質問 (8 項目)
 - (3) 各委員会の主な審査内容 (5 委員会 6 項目)
 - (4) 審議結果
- 4 津波対策、市立小中学校のあり方に関する議会議論のまとめ
- 5 グループ懇談
- 6 閉会挨拶

会場別の結果の概要

鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）

開催日時	2022年(令和4年)10月28日(金) 18:30～20:00
会場	2階学習室兼会議室
参加人数	14人
出席議員	松永 征明 議長 梅津 則行 議員（議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会） 西村 雅人 議員（総務文教常任委員会委員） 秋田 慎一 議員（経済建設常任委員会委員長、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員） 佐藤 勝秋 議員（民生福祉常任委員会委員長） 畑中 優周 議員（都心部市街地整備特別委員会副委員長） 伊東 尚悟 議員（議会広報特別委員会委員長：会場整理）



○参加者から提案のあった話題

・町内会について
・公募型プロポーザル方式について
・同性パートナーシップ制度の導入について
・地域福祉計画について
・重層的支援体制整備事業について
・小中一貫教育について
・学校での護身術の指導について
・学校の部活動の方針について
・学校での防災に関する授業について
・保育料など子どもに掛かるお金について
・就活スクロイド事業の再開について
・釧路駅周辺再整備に係る道路のL字型の結節について
・釧路駅周辺再整備の範囲について
・議会報告会の参加者に若者や女性が少ないことについて
・選挙の投票所の見直しについて
・釧路空港内の子どもが遊べるエリアの創設・拡充について
・資源リサイクルセンターのペットボトルの処理について

釧路市役所

開催日時	2022年(令和4年)10月31日(月) 19:00～20:30
会場	本庁舎2階 議場、委員会室
参加人数	32人 (※この会場は、参加者の募集を原則40歳代までとしました。)
出席議員	松橋 尚文 副議長 岡田 遼 議員 (議会運営委員会委員、総務文教常任委員会委員) 工藤 正志 議員 (経済建設常任委員会委員) 宮田 団 議員 (民生福祉常任委員会委員) 山口 光信 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員) 伊東 尚悟 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員) 大越 拓也 議員 (議会広報特別委員会委員：司会) 松原 慶子 議員 (議会広報特別委員会委員：会場整理)



○参加者から提案のあった話題

・人口減少について
・市と町の違いについて
・老朽化した建築物の解体について
・大楽毛地区への津波避難施設の新設について
・津波対策について
・水産物の増養殖に関し、商品化や産業化の可能性を感じる魚種について
・障がい児支援について
・子育て支援について
・保育料や子どもに掛かるお金について
・スポーツの地域移行について
・学校に行かない子ども達の居場所づくりについて
・養護学校の児童生徒指導において配慮していることについて
・義務教育学校設置の見込みについて
・子どもの外来通院に係る医療費助成制度の拡充について
・フェリー船の誘致について
・臨港鉄道の遊歩道化について
・エゾシカ対策について
・公共交通について
・釧路駅周辺再整備に際し市営の立体駐車場を整備することについて
・釧路駅周辺再整備の目的の違いによる国と市の財源負担の割合について
・SNSや対面により市議会議員を知ることの重要性について
・議会の傍聴者が少ないことについて
・今年の議会報告会で若い世代向けの会場を設けた目的について

音別町コミュニティセンター

開催日時	2022年(令和4年)11月1日(火) 18:30~20:00
会場	研修室1・2
参加人数	11人
出席議員	松橋 尚文 副議長 河合 初恵 議員 (議会運営委員会副委員長、経済建設常任委員会委員) 高橋 一彦 議員 (総務文教常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員) 村上 和繁 議員 (民生福祉常任委員会委員) 酒巻 勝美 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員) 伊東 尚悟 議員 (議会広報特別委員会委員長：司会) 大越 拓也 議員 (議会広報特別委員会委員：会場整理)



○参加者から提案のあった話題

・ 公共料金のクレジットカード支払について
・ 日本製紙釧路工場の跡地について
・ 森林環境譲与税の更なる有効活用について
・ 市有林、私有林の積極的な整備について
・ 行政のスマートフォン対応の進め方について
・ 都心部まちづくり計画の実現性について
・ 音別地区出身の市議会議員がいないことについて
・ グランピングを含むキャンプの現状について
・ ふるさと納税について
・ 市有施設の改修の優先性の判断について
・ 人口減少と地域活性化の方策について
・ 義務教育学校の開校時期の前倒しについて
・ 既存の学校施設の活用と再編について
・ 児童・生徒数の減少について
・ おんぼーとの積極的な活用について
・ パシクルの空き家について
・ 酪農について

阿寒町公民館

開催日時	2022年(令和4年)11月2日(水) 18:30~20:00
会場	視聴覚室
参加人数	13人
出席議員	松永 征明 議長 松尾 和仁 議員 (議会運営委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員) 三木 均 議員 (総務文教常任委員会委員長) 続木 敏博 議員 (経済建設常任委員会委員) 大澤 恵介 議員 (民生福祉常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員長) 松原 慶子 議員 (議会広報特別委員会委員：司会) 板谷 昌慶 議員 (議会広報特別委員会委員：会場整理)



○参加者から提案のあった話題

・コロナ対策としてのプレミアム付商品券の発行について
・大地震の際に落橋により阿寒地区が孤立する可能性について
・子どもの医療費助成制度の拡充について
・農業情勢の悪化に対する自治体としての支援策について
・釧路駅の高架化について
・スマートフォン購入費の一部助成について
・阿寒丹頂の里の宿泊部門の動きについて
・エゾシカの囲いわなについて
・行政センターの将来について
・議会報告会の日程について
・議会報告会の周知方法について

中央図書館

開催日時	2022年(令和4年)11月4日(金) 10:30~12:00
会場	7階多目的ホール
参加人数	25人
出席議員	松橋 尚文 副議長 金安 潤子 議員 (議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員) 月田 光明 議員 (総務文教常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員長) 栗屋 剛 議員 (民生福祉常任委員会副委員長) 草島 守之 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員) 板谷 昌慶 議員 (議会広報特別委員会副委員長：司会) 梅津 則行 議員 (議会広報特別委員会委員：会場整理)



○参加者から提案のあった話題

・コーチャンフォー釧路文化ホール（釧路市民文化会館）における車椅子用のトイレの設置について
・子どもに向けた電子図書の貸出しについて
・市の東京事務所の役割について
・香りの被害について
・使用しなくなった市有施設の解体について
・日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定について
・北朝鮮から飛来するミサイルへの対策について
・施錠されている学校施設への夜間の避難について
・人口減少対策について
・若者が釧路市に定着するための施策について
・釧路市の現状と変化の方向性に関する議員個人の考えについて
・釧路駅周辺再整備について
・市民負担軽減のための市の歳入増加の議論について
・介護人材として移民を受け入れることについて
・公募型プロポーザルについて
・義務教育学校設置に伴う教員数の減少について
・小中学校のあり方に関する青少年問題協議会からの意見・提言について
・支所・分室の廃止について
・町内会の加入促進について
・議員定数について

アンケート集計結果

2022年度(令和4年度)議会報告会「参加者アンケート」集計結果

1 会場別参加者数

日	会場名	令和4年度	令和3年度	令和元年度	平成30年度
10月28日(金)	釧路市鳥取コミュニティセンター (コア鳥取)	14	15	-	10
10月31日(月)	釧路市役所 議場 (夜)	32	-	-	-
11月1日(火)	音別町コミュニティセンター	11	-	-	19
11月2日(水)	阿寒町公民館	13	32	23	-
11月4日(金)	釧路市中央図書館	25	23	22	40
	音別町行政センター	-	21	-	-
	緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター	-	-	16	-
	釧路市東部地区コミュニティセンター (コア大空)	-	-	8	-
	釧路市中部地区コミュニティセンター (コアかがやき)	-	-	-	20
合 計		95	91	69	89

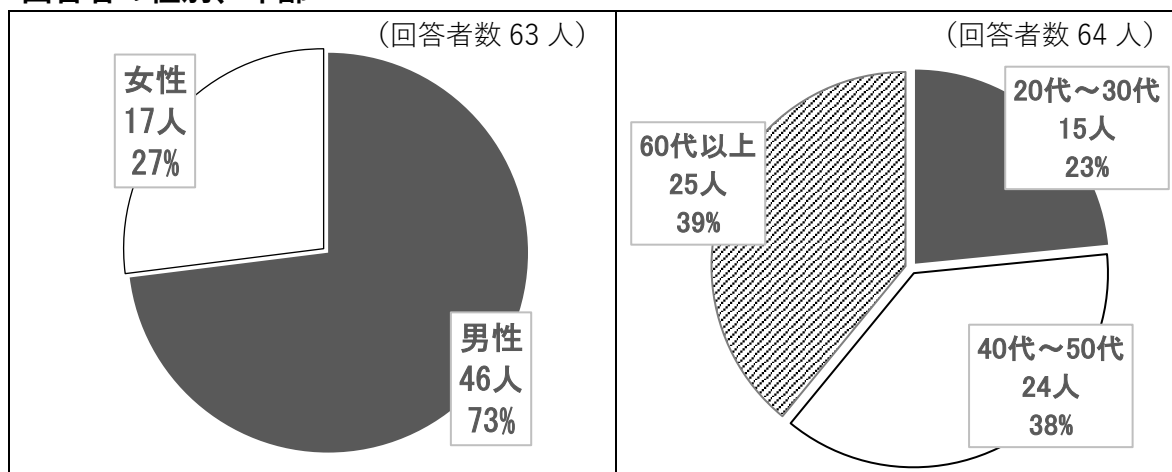
今年度の参加者数は合計延べ95人であった。なお、複数の会場に参加してくださった方もいた。

会場別では、音別町コミュニティセンターは前回(昨年)の音別町行政センターと比べて10人減、阿寒町公民館は前回(昨年)から19人減となっており、一見すると阿寒・音別地区の会場で参加者が大きく減少したように見えるが、昨年は両行政センターの職員18人を含めて計上していたことから、これを除くと両地区合計で11人の減少ということになる。

2 アンケートの結果

アンケートは、参加者95人のうち64人から回収した。以下、会場全体を通してのアンケート結果について報告する。

(1) 回答者の性別、年齢



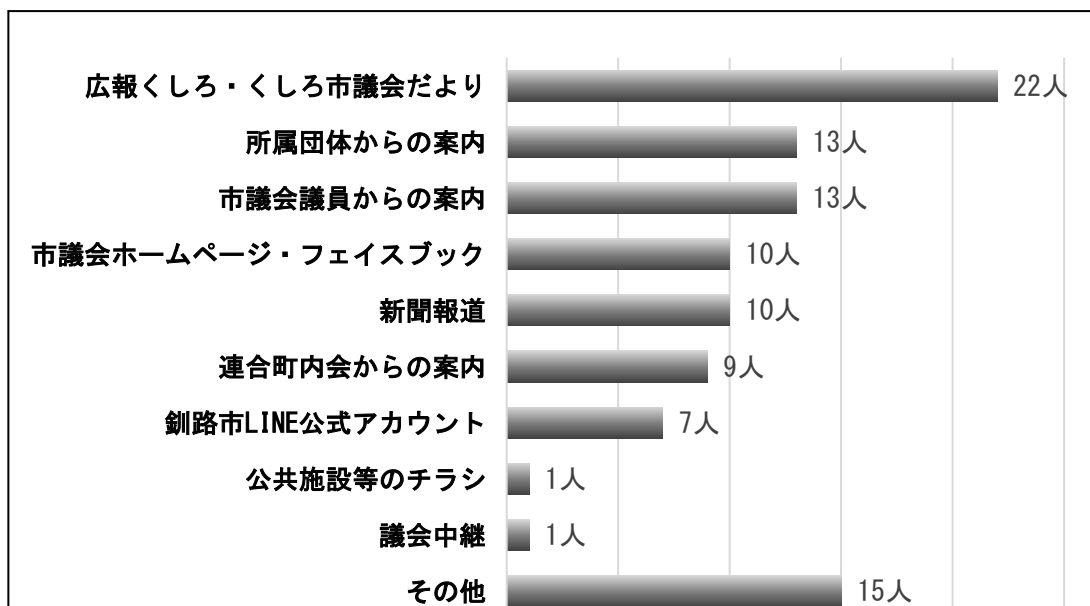
回答者の性別は、前回と同様、男性の割合が73%と多くなっている。なお、中央図書館のみ女性の回答数が男性を上回った。

【前回との相違点】

また、年齢については、前回約半数まで増えた50代以下の回答者の割合がさらに増え、約6割となった。

(2) 議会報告会の開催を何で知りましたか（複数回答可。回答者数 63 人）

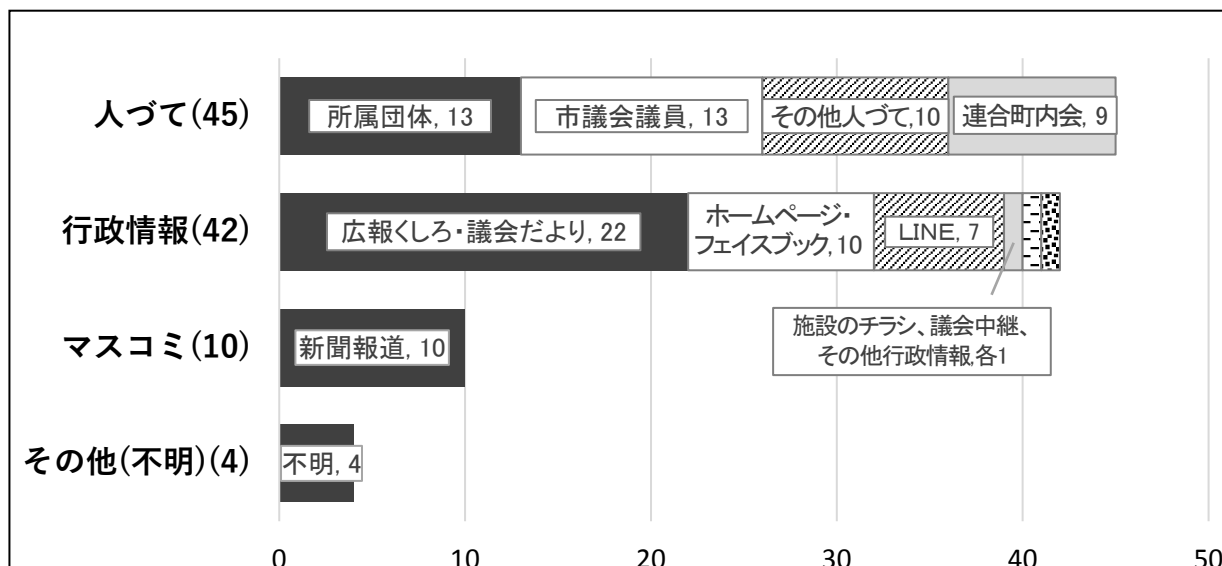
① 情報源（周知方法）ごとの回答人数



報告会の開催を知ったきっかけは、「広報くしろ・議会だより」が最も多く、「所属団体からの案内」、「市議会議員からの案内」が同数で続いた。

「その他」の内容としては、「知人からの紹介」、「ツイッター」など人づてのものが多く見られた。

② 情報源（周知方法）の分類ごとの回答人数（単位：人）



報告会を知るきっかけとなった情報源（周知方法）について、「人づて」、「行政情報」、「マスコミ」の3つに分類して集計を行ったところ、前回と同様、人づてと行政情報がほぼ同数であり、マスコミは比較的少数であった。

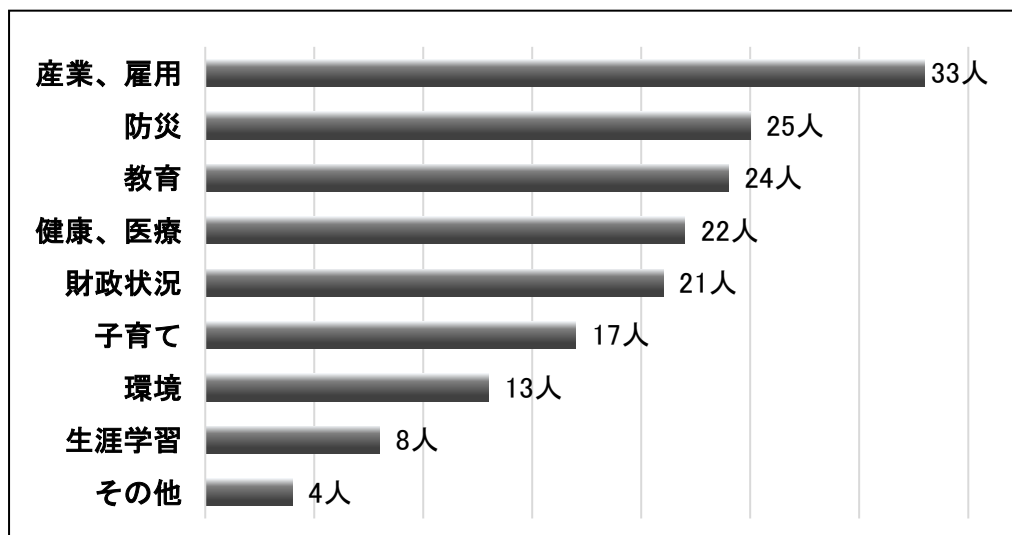
③ 情報源（周知方法）の分類ごとの回答人数（世代別）（単位：人）

	人づて	行政情報	マスコミ	その他
20～30代	9	6		3
40～50代	17	13	3	
60代以上	19	23	7	1
全体	45	42	10	4

前回ほどはっきりした傾向ではないものの、50代以下の回答者は「人づて」で報告会を知ったと回答した割合が多い傾向が見られる。

また、報告会を知った情報源（周知方法）の数についても調べたが、昨年と同様、「1つ」の情報源により報告会を知ったという回答が全ての年代を通じて最も多かったが、60代以上の世代においては、複数の情報源により報告会を知った割合が半数を超えていた。

(3) ふだん市政に関して、関心のあることは何ですか（3つまで回答。回答者数 61 人）



市政に関して興味のある事項は、「産業、雇用」が最も多く、次いで「防災」、「教育」の順に多かった。

「その他」の内容としては、「地域振興」、「観光」、「まちづくり」、「施設維持」という回答があった。

なお、4つ以上回答があったものについても、無効回答とはせず、集計に加えた。

【前回との相違点】

回答者数がほぼ同数（60人）だった前回と比較して10人以上の増減があった項目があり、「教育」については11人増（13人→24人）、「財政状況」については13人減（34人→21人）だった。

(4) 次の説明会等のうち、参加したものはありますか。(複数回答可。回答者数 64 人)

	「参加した」と回答した人数	回答者数に対する割合
①2022 年度 市政懇談会	20 人	31.3%
②釧路都心部まちづくり計画 住民説明会	15 人	23.4%
③「支所のあり方」に関する住民説明会	6 人	9.4%
④「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」に関する地域懇談会	11 人	17.2%

(参考)

4 つの説明会等のうち いずれか 1 つ以上に参加 した人の割合	46.9% (30 人)
いずれか 2 つ以上に参加 した人の割合	21.9% (14 人)

2022 年は、重要な市の施策に関する住民説明会等が複数開催されたことから、どの程度これらの住民説明会等に参加していたか尋ねたところ、4 割以上の回答者が 4 つの住民説明会等のうちいずれか 1 つ以上に参加していたという結果となった。

ところで、4 つの住民説明会等の全市の参加人数はそれぞれ概ね次のとおりとなっている。

①2022年度 市政懇談会	約 1 0 0 人
②釧路都心部まちづくり計画 住民説明会	約 1 0 0 人
③「支所のあり方」に関する住民説明会	約 2 4 0 人 (8 月開催分まで)
④「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」に関する地域懇談会	約 3 7 0 人

(議会事務局調べ)

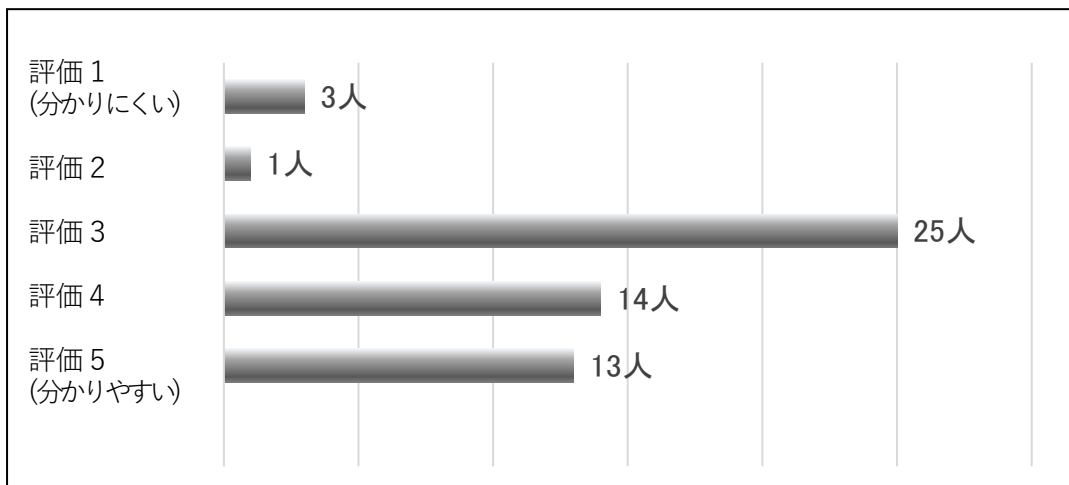
釧路市の人口は約 16 万 5,000 人 (2020 年国勢調査) であることから、4 つの住民説明会等のうち最も参加人数の多い④「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」に関する地域懇談会 (参加人数約 370 人) であっても、全人口に対する参加人数の割合は約 0.22% である。

このことから、議会報告会の参加者のうち 1 つ以上の住民説明会等に参加した人の割合 (46.9%) は非常に多く、今回の議会報告会には市政に対して関心の高い方が参加していたと考えることができる。

議会報告会の参加者から「地域に住む住民の意見を聴くことができた」という旨の感想もいただいております。今回の議会報告会は「自分以外の住民がどう考えているか聞いてみたい」という思いを実現できる場であったと考えられる。

(5) 津波対策や小中学校のあり方に関するスライドは分かりやすかったですか。

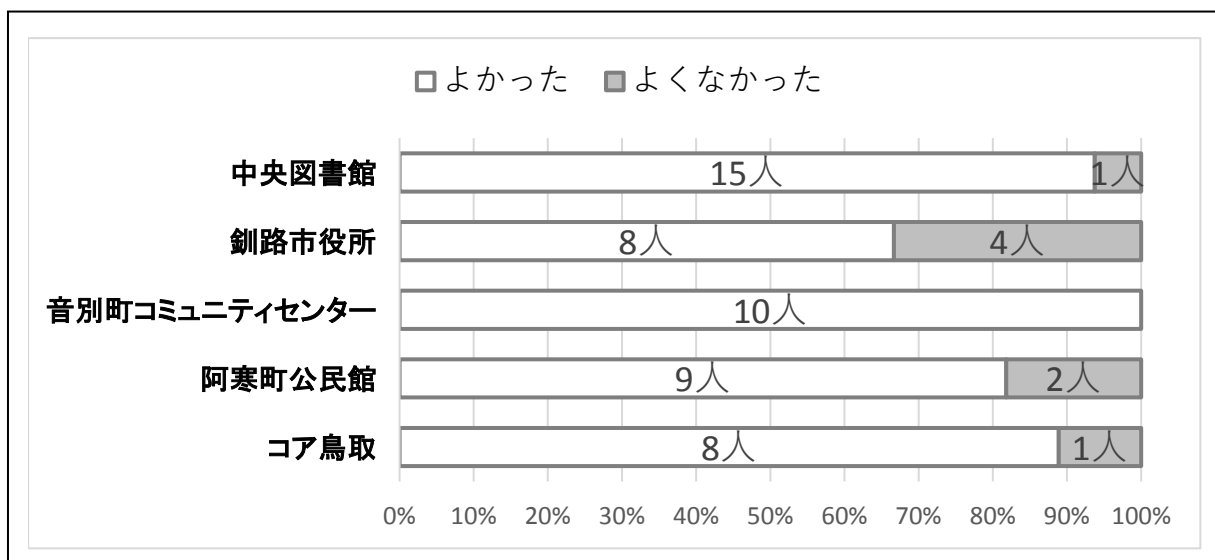
(回答者数 56 人)



津波対策や小中学校のあり方に関するスライドについて、概ね分かりやすいとの評価を得られたと考えている。

今回のアンケート結果により、議会報告会の参加者は市政に対して関心の高い方が多いことが分かったことから、今後の議会報告会においては、それを踏まえたスライド作成を検討する必要がある。

(6) グループ懇談はいかがでしたか。(回答者数 58 人)



グループ懇談については、概ねよかったとのご感想をいただいた。音別町コミュニティセンター会場では回答者全員が「よかった」と回答していた。一方、市役所会場では回答者の3人に1人が「よくなかった」との回答であり、無回答（空欄）の方も4人いた。市役所会場では多くの方にご来場いただいたため、各グループの人数が10人を超え、十分に発言できなかった方がいたことも一因と考えられる。

今回は、グループ懇談の時間を全体で約60分とし、20分～30分で議員が交代する形式としたが、どの会場でも「時間が短い」旨の意見が見られた。

(7) 議会報告会に参加しやすい時間帯や曜日はいつですか。(複数回答可。回答者数 58 人)

(全体) (単位：人)

	平日	土曜日	日曜日
10 時～12 時	10	11	9
13 時～15 時	10	5	6
15 時～17 時	4	5	5
18 時～20 時	33	20	21

(20 代～30 代)

	平日	土曜日	日曜日
10 時～12 時	2	0	0
13 時～15 時	3	1	2
15 時～17 時	2	0	0
18 時～20 時	10	6	7

(40 代～50 代)

	平日	土曜日	日曜日
10 時～12 時	0	5	3
13 時～15 時	0	2	2
15 時～17 時	0	3	2
18 時～20 時	12	10	9

(60 代以上)

	平日	土曜日	日曜日
10 時～12 時	4	2	1
13 時～15 時	6	2	1
15 時～17 時	2	1	1
18 時～20 時	10	4	4

全体で一番「参加しやすい」との回答が多かった区分は、「平日」の「18 時～20 時」で 33 人であり、全ての年代でこの時間帯が参加しやすいという回答が最も多かった。

また、土曜日、日曜日であっても、「参加しやすい」との回答が多かったのは「18 時～20 時」であった。

今回は土日の開催ができなかったが、次回、開催日を考える際には、今回のアンケート結果を踏まえて検討が必要である。

(8) 今まで、オンライン(ユーチューブ、Zoom 等)で行われた会議、会合などに参加したことはありますか (回答者数 63 人) (単位：人)

	ある	ない	わからない	計
20～30 代	3	11	1	15
40～50 代	13	10		23
60 代以上	6	18	1	25
全体	22	39	2	63

オンライン会議等に「参加したことがある」と回答した方の割合は、全体で約 35%であった。前回は、「参加したことがある」と回答した方の割合は約 40%であったことから、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたこの 1 年間でも、オンライン会議等の経験者がそれほど増えていないことが推察できる。

3 次回の議会報告会に向けて

2022 年度は、アンケート回答者のうち 50 代以下の割合が約 6 割となっており、働いている世代の参加が前回よりもさらに多くなった。

議会報告会を知ったきっかけ(2-(2)-②)を見ると、昨年同様に「人づて」との回答が多く、ホームページやフェイスブックによる周知も一部にしか届いていない現状が示唆されることから、周知方法について課題が残った。

また、回答者の中に市政懇談会その他住民説明会等に参加している方がいることも分かったため、そうした市政への関心が比較的高い方に、議会報告会にも興味を持っていただくための手法についても研究する必要がある。

今回初めて実施した「グループ懇談」による質疑応答・意見交換については、参加者から概ね好評をいただいております、参加した議員にとっても貴重な機会であった。

参加者から一番多かった意見は、懇談の時間が短いというものだった。今回の運営上の課題として真摯に受け止めるべきご意見であるが、見方を変えれば、「自分の声をもっと市議会に届けたい」と思った回答者が多くいたことの表れであり、一定程度、市議会への意識が高まる場となったことを確認できたことは、市議会にとって大きな収穫であったと考える。

グループ懇談の時間、複数のグループが同時に懇談できるような会場のレイアウト、議員と参加者の人数のバランス、進行方法、参加者の発言時間の公平性など課題がいくつか見つかったものの、実施したこと自体は評価できるものと認識しており、今後もこうした機会を大切にしていきたい。

議会報告会の開催の時間帯については、おおむね適切であったと思われるが、多くの市民にとって参加しやすい開催方法、曜日、時間帯、場所等について引き続き検討することが今後の課題である。

また、前回の報告会において、参加者から「町内会の役員等のベテラン世代の参加者が市政について熱心に質問している中で、若い自分が発言するのは気後れする」という旨の感想があったことから、今回は、参加者を原則 40 歳代までとする会場(市役所会場)もさらに設けることとした。

参加者からは世代を分けて開催したことにより話しやすかったとの感想も見られたが、引き続き、様々な世代の参加者が発言しやすい開催方法の研究に努めていきたい。

最後に、アンケートの自由記述欄や「皆さまの声をお寄せください」の用紙において、たくさんのご意見をいただいた。この場を借りてお礼を申し上げたい。ご意見は、掲載や公開の了承を得ていなかったことなどからこの報告書には掲載しないが、全議員で共有されていることをお伝えしたい。

4 アンケート等の内容（参考）

(1) アンケート回答用紙

フォームから回答する場合は下のQRコードから↓



2022年度(令和4年度)議会報告会 ～議員とおしゃべりしませんか！～ 参加者アンケート



以下の質問に記入、または該当する項目にチェックをつけて回答してください。

1 性別を記入してください

()

2 年齢

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 20歳未満 | <input type="checkbox"/> 20代 |
| <input type="checkbox"/> 30代 | <input type="checkbox"/> 40代 |
| <input type="checkbox"/> 50代 | <input type="checkbox"/> 60代 |
| <input type="checkbox"/> 70代 | <input type="checkbox"/> 80歳以上 |

3 議会報告会の開催を何で知りましたか。(複数回答可)

- 市議会ホームページ・フェイスブック
- 釧路市LINE公式アカウント
- 広報くしろ・くしろ市議会だより
- 公共施設等のチラシ
- 連合町内会からの案内
- 所属団体からの案内
- 市議会議員からの案内
- 新聞報道
- エフエムくしろ
- 議会中継
- 市役所庁舎内の電光掲示板
- その他()

4 ふだん市政に関して、関心のあることは何ですか。(3つまで)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 財政状況 | <input type="checkbox"/> 子育て |
| <input type="checkbox"/> 防災 | <input type="checkbox"/> 教育 |
| <input type="checkbox"/> 環境 | <input type="checkbox"/> 生涯学習 |
| <input type="checkbox"/> 健康、医療 | <input type="checkbox"/> 産業、雇用 |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

5 次の説明会等のうち、参加したものはありますか。(複数回答可)

- 2022年度 市政懇談会
- 釧路都心部まちづくり計画 住民説明会
- 「支所のあり方」に関する住民説明会
- 「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」に関する地域懇談会

6 津波対策や小中学校のあり方に関するスライドは分かりやすかったですか。

(5段階評価)

分かりにくい ←————→ 分かりやすい
1 2 3 4 5

7 グループ懇談はいかがでしたか。

- よかった よくなかった

理由 ()

8 議会報告会に参加しやすい時間帯や曜日はいつですか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 10時～12時 | <input type="checkbox"/> 平日 |
| <input type="checkbox"/> 13時～15時 | <input type="checkbox"/> 土曜日 |
| <input type="checkbox"/> 15時～17時 | <input type="checkbox"/> 日曜日 |
| <input type="checkbox"/> 18時～20時 | |

9 今まで、オンライン(ユーチューブ、Zoom等)で行われた会議、会合などに参加したことはありますか。

- ある
- ない
- わからない

質問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

(参考資料) スライド

議員とおしゃべり しませんか？

議会報告会-2022-

1

議会基本条例を制定（平成23年）

「市民にわかりやすい開かれた議会」

- ・ 市民への情報発信と説明責任を果たす
- ・ 市民と情報や意見交換する場を多様に設ける

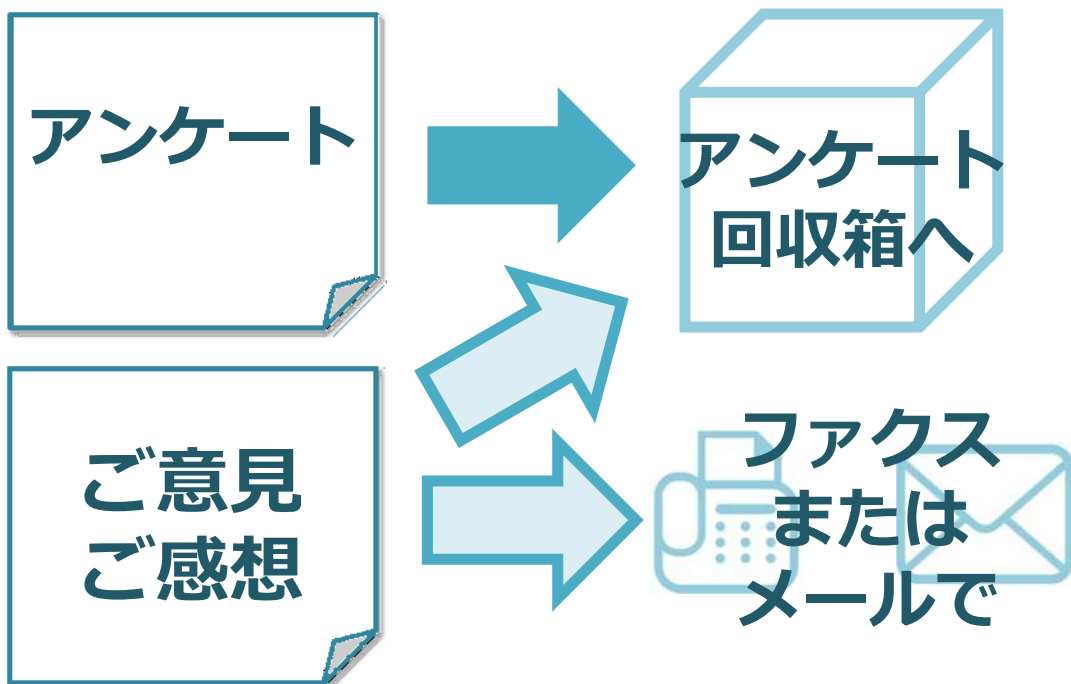
そのひとつが「議会報告会」

2

本日の次第

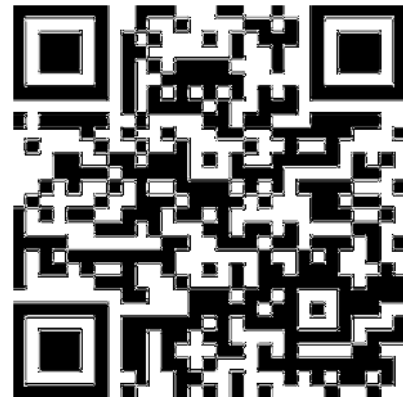
1. 議会だよりのリニューアル
2. 9月定例会の報告
 - ① 日程
 - ② 質疑・一般質問
 - ③ 委員会審査
 - ④ 審議結果ほか
3. 津波対策、学校のあり方に関する議会議論のまとめ
4. グループ懇談

ご協力のお願い



LoGoフォームからも回答できます

「議会報告会」
ご意見・ご感想、
アンケート送信
フォーム



ご自宅でゆっくり考えたい方は、
こちらのフォームをご利用ください。

議会だよりのリニューアル

9月定例会の日程

主な日程（会期 21日間）																
9/7 (水)	8 (木)	9 (金)		12 (月)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)			20 (火)	21 (水)	22 (木)		26 (月)	27 (火)
市政報告、提案説明	質疑・一般質問（5人）	質疑・一般質問（4人）		各分科会／常任委員会審査	各分科会／常任委員会審査	各分科会／常任委員会審査	各常任委員会審査	採決			各分科会審査 予算決算常任委員会審査	各分科会審査	各分科会審査		各分科会審査 予算決算常任委員会審査	採決
											←決算の審査のみ→					



質疑・一般質問

質疑・
一般質問 1

部活動の地域移行に対しての考えは

令和5～7年度が休日の部活動の段階的な地域移行に向けた改革集中期間とされている。
教育委員会としてどのように考えているのか。



部活動の地域移行による、教員の業務負担軽減は、当市でも必要な取り組みと考えるが、国等からは財源措置等の詳細な情報が示されていないことから今後も動向を注視したい。

質疑・
一般質問 2

道の駅阿寒丹頂の里の運営 についての見解は

阿寒丹頂の里エリアは、いわゆる第三セクターの運営であるが、活性化を図るには限界がきていると考える。民間運営の必要性について聞きたい。



運営はプロポーザルでの選定のため現在の指定管理者に限定しているものではないが、阿寒丹頂の里活性化協議会等と議論しながら活性化に向け、テンポを上げていく。

質疑・
一般質問 3

パートナーシップ制度の導入を

LGBTQなど性的少数者に対する取り組みが道内
他都市と比べ遅れている。
一歩踏み出すべきと考えるが見解を聞きたい。



制度の導入に向けては、多くの市民の
理解や仕組みづくりが必要になる。
今後も他都市の状況にも注視しながら
しっかりと議論し、制度化に向けて検
討していきたい。

13

質疑・
一般質問 4

郷土愛を育む環境教育を

猛禽類やタンチョウ、マリモなど当市の誇る自然に
触れることなく義務教育課程を終える子が多い。子
どもたちへ向けた国立公園体験ツアーなど民間の活
動に行政も連携すべきでは。



これまでも出前講座やSNSなどを
通じて環境教育に取り組んできた。
今後も民間団体等の動きを情報収集
し、連携可能な事業は実現に向け働
きかけていきたい。

14

質疑・
一般質問 5

香りによる健康被害の軽減策を

洗剤や柔軟剤などに含まれる合成香料によって健康被害が生じる香害について、ポスターなどで市民の理解を深めるべきではないか。



市の所管施設に香害に関するポスターの掲示を呼び掛けていく。また、香りによる化学物質過敏症に対する理解を深めることも重要であるため、引き続き関係部署と連携し、市民への情報発信に努めていきたい。

質疑・
一般質問 6

義務教育学校になった場合の 教員数は

釧路市がめざす学校のすがた基本計画（素案）で示された「春採中、桜が丘小、興津小」、「桜が丘中、朝陽小、東雲小」の本年5月1日現在と、義務教育学校となった後の教員数は。



「春採中、桜が丘小、興津小」は、32人から24人となり、8名の減、「桜が丘中、朝陽小、東雲小」は、26人から19人で7名の減となる試算をしている。

質疑・
一般質問 7

災害発生時の避難では 車使用の禁止を

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定が示されたが、災害時に市民が一斉に車で避難すると渋滞となることが考えられる。市として車の使用は禁止するべきではないか。



市民の皆様には、避難困難地域を除き、徒歩による避難をお願いしている。引き続き、徒歩避難の重要性について、さまざまな手法により周知の徹底に努めていきたい。

17

質疑・
一般質問 8

子どもの医療費助成の拡充を

道内35市の中で小学生以上の通院費の助成をしていないのは、釧路市を含め3市である。他都市と比べ見劣りしないよう拡充すべきでは。



社会保障制度は、どこに住んでいても同様の負担であることが望ましいと認識している。その中で、昨年8月から高校生までの入院医療費の無料化を実施したところである。

18



総務文教
常任委員会

「情報格差対策」 市民のための取り組み強化を

情報格差の解消には、市民がスマートフォンを所持し操作できる支援が必要。高齢者へのスマートフォン普及推進のため、購入費の一部を助成してはどうか。



取り組みの第一歩として、スマートフォン教室を9月から来年1月まで市内40か所で実施する。利便性を知らせる効果的な手段について、情報収集し対策を検討していきたい。

経済建設
常任委員会

「釧路海域での養殖ギンザケ実証実験」
中間報告

養殖ギンザケ実証実験について、養殖を始める種苗の育成時期を早める可能性はあるのか、また、将来的な養殖事業の考え方について聞きたい。



現在の実証実験は(株)二チモウの協力により3年間実施される。終了後に、釧路市養殖事業調査研究協議会において種苗の育成時期を検討していく。今後の事業化に向け、釧路に適した養殖事業を探っていく。

民生福祉
常任委員会

緩和ケア病棟の病床数及び
人員配置について

当初予定の21床はそれだけのニーズを見込んでいたのか、また、実際に開始される病床数は14床で医師1名体制だが、人員確保のめどは立っているのか。



当初の予定では、21床を運用するためのニーズがあると見込んでいた。人員確保については、道内に緩和ケア内科の医局がないが、多方面の情報を入手し配置に努め、病院内の医師の体制も検討していく。

民生福祉
常任委員会

休止中の音別町認知症高齢者
グループホームの活用方法

当該施設を障がい者用のグループホームへ活用できないか検討しているとのことだが、その際に、定員の変更はあるのか。また、具体的な活用方法はどうか。



音別地域にある障がい者用のグループホームのいくつかは、更新時期を迎えている。それを集約できないか検討の話もあるが、転用には厚労省の許可が必要であるため、現在、管轄の北海道厚生局と協議中である。

石炭対策・
関連エネルギー調査
特別委員会

釧路コールマイン(株)における
ゼロカーボン構想の推進を

ゼロカーボン構想に基づく、二酸化炭素の利活用に向けたさまざまな実証実験について、釧路市としてどう考えているのか。



国では、二酸化炭素を回収し、再利用するカーボンリサイクルを推進している。ゼロカーボン構想は石炭産業の理解と安定化につながるものであり、構想推進に必要な情報収集に努めたい。

都心部市街地整備
特別委員会

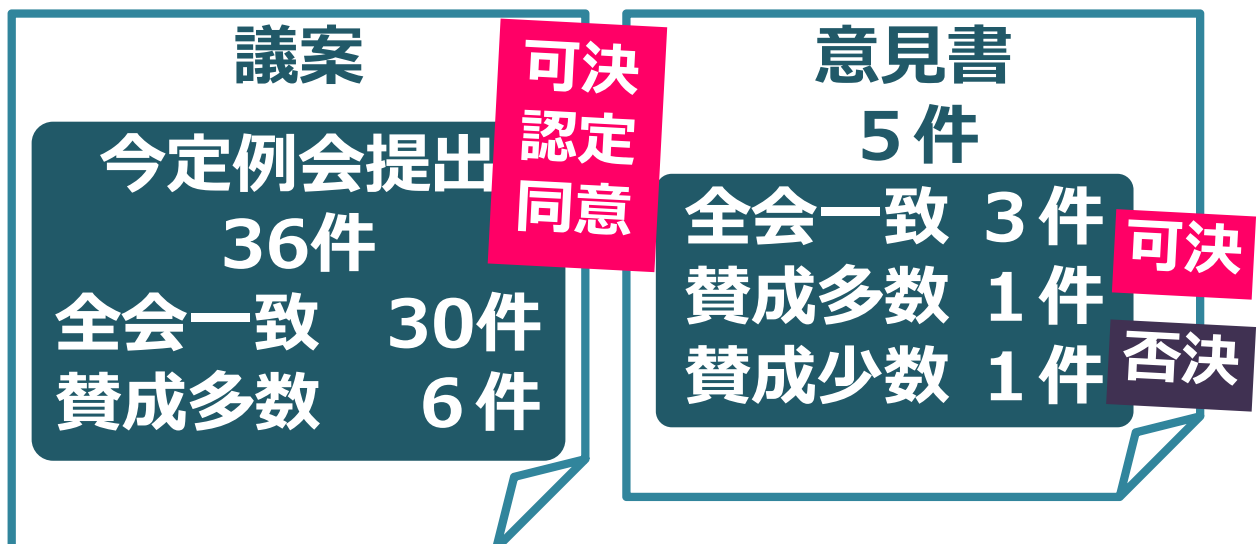
釧路都心部まちづくり計画
「中心市街地活性化に向けた
具体的な対策を」

「都心部まちづくり計画と連動した中心市街地活性化に向けた取組」に関し、検討状況や方向性について聞きたい。



中心市街地の活性化に関して、意見交換の場などで市民からさまざまなご意見を伺っているところである。それらを踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか、十分に時間をかけ検討しているところである。

9月定例会で審議された議案



津波対策に関する議論 (6月定例会以前)

令和3年12月

国が日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの
被害想定を公表 (死者数が8万人超の想定)



(津波浸水立体映像)

【議会での議員の質問】

- ・避難を迅速化するために津波ハザードマップが必要ではないか。
- ・津波浸水3Dマップの今後の活用方法は。
- ・避難困難地区への対応は。
- ・大楽毛地区へ津波避難タワーを併設した複合施設の設置は。

27

津波対策に関する議論 (9月定例会)

令和4年7月28日

北海道が日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの
被害想定を公表

【議会での議員の質問】

- ・「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」の改正内容と、現在の避難箇所への補助の活用は。
- ・津波避難対策緊急事業計画の策定時期は。

28

津波対策に関する国の対応と 釧路市の今後の動き

日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震に備え、
国は、**防災・減災対策を推進する地域**として**釧路市を含む**
8道県272市町村を指定。

→ 今後、改正された特別措置法による補助を活用するため
津波避難対策緊急事業計画を作成する。

↳ **津波避難施設の配置** (●:9月議会まで ◎:9月議会後)

- 津波浸水想定の変更により、市全域で既存の建物を見直し、避難施設を追加予定
- 大楽毛小、音別中などの施設整備予定
- ◎大楽毛地区へ平常時も使用する避難施設(2棟)の新設予定

既存の公共施設などが併設された複合施設
消防支署が入る施設 **いずれも老朽化している施設**

市立小中学校のあり方

○制度的な背景

2015年(平成27年)の学校教育法の改正

義務教育学校(修業年限9年)が制度化

既存の小学校・中学校で小中一貫教育を行う「小学校併設型中学校」
及び「中学校併設型小学校」も省令で位置付けられた。

○義務教育の現状・課題に関する市の認識

- ・中1ギャップ[※]
- ・学力や学習意欲の伸び悩み
- ・児童生徒の減少によるデメリットの解消
- ・学校施設の老朽化など

※ 小学校から中学校への進学の際に新しい環境での学習や生活に不適應を起こす現象と
言われている。

市立小中学校のあり方

○市の検討（2021(令和3)年6月～）

市民や有識者から構成される
「釧路市立小中学校のあり方検討委員会」を立ち上げ、検討

小中連携・小中一貫教育の推進が有効な方策の一つ
との方向性を持った。

2022年(令和4年)6月
「釧路市がめざす学校のすがた基本計画(たたき台)」の作成

- ① 中学校区を基盤とした小中連携の推進
- ② 通学区域再編の推進
- ③ 施設一体型義務教育学校設置の推進
- ④ 将来的な施設一体型義務教育学校設置に向けた小規模小学校の再編

市立小中学校のあり方

○小中連携教育・小中一貫教育とは

小中連携教育 小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、
小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

小中一貫教育 小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、
9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

義務教育学校（修業年限9年）

- ・新たな学校種(1つの学校)
- ⇒ 1人の校長、1つの教職員組織



小中一貫型小学校・中学校

- ・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
- ⇒ それぞれの学校に校長、教職員組織



「基本計画」(たたき台・素案)に対する議会での質問

①小・中学校の再編等※

※6月の「たたき台」での議論。議会での質問や地域住民の声を踏まえ、9月の「素案」では見直された。

- 城山、新陽、武佐小学校は小中一貫にはならず統合されてしまうが、小中一貫のメリットは受けられないのではないかな。
- 小規模の小学校を残したままにするとなぜ中学校との連携がしにくくなるのかな。

②地域づくりと学校

- 文科省が学校を地域コミュニティの存在と位置づけ、小規模校を存続させる場合もあると示していることについて、地域懇談会で説明すべきではなかったかな。
- 20年前は幾つか学校を新築した上で統合したが、今回ないのはなぜかな。

③今後の課題等

- 学校の跡利用の問題や、学校選択制などが明記されているが、不登校特例校の整備、設置についても何らかの形で記述しておくべきではないかな。
- 通学路の防犯の関係で、通学路の距離が延びる大楽毛小と、新陽小について、どのようなことを考えているのかな。

「基本計画」(素案)公表までの動き(6月定例会後)

2022年(令和4年)7月
市教委が市内各所で「基本計画」に関する地域懇談会を開催

2022年(令和4年)9月定例会 議員の質問

Q 地域懇談会で出された意見にはどのようなものがあり、また、どのようにその意見を素案に反映したのか確認したい。

A 小中連携・小中一貫教育を推進し、施設一体型の義務教育学校の設置を進める方向性に変更はない。

一方、義務教育学校の設置とは関係のない小学校の統合再編については、「基本計画」の素案から削除することとした。

グループ懇談 議員がそちらに向かいます

ご参加いただき ありがとうございました

**2022 年度(令和 4 年度)
議会報告会結果概要**

2023 年 1 月発行

発行 釧路市議会

編集 議会広報特別委員会

〒085-8505 北海道釧路市黒金町 7 丁目 5 番地

TEL : 0154-31-4581

FAX : 0154-23-7679

E-Mail : gi-gikai@city.kushiro.lg.jp